

タイ国で高速周回路工事を受注

日本道路のタイ現地法人であるタイ日本道路は、このたびタイ国工業省工業規格局（TISI）がタイ国に建設している自動車・タイヤ試験・研究・イノベーションセンター（ATTRIC）における高速周回路工事を受注しました。建設する高速周回路は、2kmの斜面舗装を含む全長4kmの大型周回路で、タイ国で初めて本格的なバンクを持つテストコースになります。ATTRICはASEAN域内の自動車製品認証用の施設であり、タイ日本道路は2018年から同テストコースのISO路、4面の特殊路、連絡橋等を建設しています。



舗装工事の出来形測定アプリを共同開発

日本道路は、(株)Lightblue、および当社のグループ会社であるエヌディーリース・システム(株)と共同で、道路の舗装維持修繕工事における生産性向上とICT活用工事に効果を発揮する舗装出来形測定アプリケーション「ライトメジャー」を開発し、当社の現場での使用を開始しました。スマートフォンカメラで計測箇所に置いたARマーカを撮影するだけで、高さ・幅員測定をクラウド上で解析記録し、帳票を自動で作成します。測定は1人で行うことができ、従来手法に比べて省人化(人・時間)指標で70%削減を実現できました。



小学校で出張授業を行いました

日本道路は6月26日(水)、東京都中野区の谷戸小学校で出張授業を行いました。4年生の3クラス約90人の生徒が参加し、クイズや供試体を使った実験などを通じて、道路に関して理解を深めていただきました。この授業は、谷戸小学校近隣で都道の舗装修繕工事を行っている当社が地域貢献活動の一環として、4年生の「社会」の授業内で実施させていただいたものです。



機関投資家向け施設見学会を開催

株主を含む機関投資家や証券アナリストの皆さまに、当社グループの事業活動やESG経営への理解を深めていただくため、決算説明会や個別のIRミーティングなど実施しています。2024年9月26日、機関投資家やアナリストの方を対象に、当社が今年度より運用を開始した土浦テクノBASE（茨城県土浦市）の見学会を開催しました。当社グループは今後も積極的な情報開示を行い、株主・投資家の皆さまをはじめマルチステークホルダーとのコミュニケーションを促進することで、経営の透明性を高めてまいります。



<パラリンアート>22世紀の楽しい道づくり

日本道路は2022年より、一般社団法人障がい者自立推進機構が運営する「パラリンアート事業」のオフィシャルパートナーとして、アートを通じて障がいのある方の社会参加・経済的自立の支援を行っています。2022・23年と描き下ろしをお願いしてきたmatokaさんに、今回第3弾となる作品をお願いしました。この作品は、「日本道路グループ統合報告書2024」の表紙にも採用しています。matokaさん、今回も素敵な作品をありがとうございました！



Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

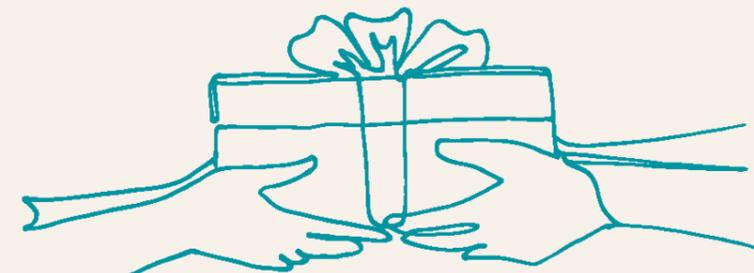
『NICHIDO VIEW』 Vol.10について

今年度は、全国各地の展示会に参加させていただき、その中でもCO₂削減工法に関するお問合せを多くいただいております。そこで、日本道路はカーボンニュートラル対応の工法カタログを新たに作成しました。カタログでは、「木煉」「バイオ炭」「スーパーPETアスコン」について、さらに詳しくご紹介しております。展示会にて配布しておりますので、ご興味のある方はぜひ日本道路ブースへお立ち寄りください。

(未来戦略ワーキンググループ)

NICHIDO VIEW

日本道路の
地球にやさしい工法



Vol.10

特集 カーボンニュートラル対応工法カタログを発売!



—やさしい未来につながる道を—

カーボンニュートラル対応工法 のカタログをつくりました。

2024年10月発刊



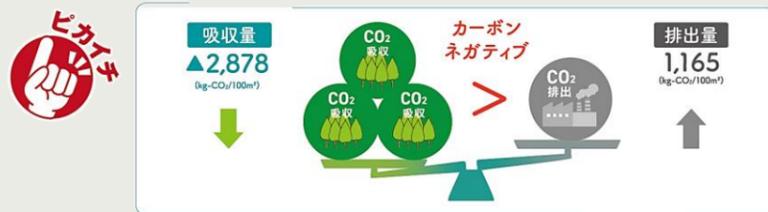
炭素低減

Method 1 未使用バイオマスの有効活用
木煉 MOCREN

木煉は、炭素を吸収した伐採材を細かく破碎した木質チップと特殊添加剤を混ぜ合わせ、高圧プレスで締め固めた木質成型ブロックです。



木煉は、100m²分を製造する際に二酸化炭素を1,165kg排出しますが、原材料である木質チップ材が2,878kgの二酸化炭素を吸収しているため、排出量よりも吸収量が上回り、**カーボンネガティブ**な舗装材と言えます。工場などで削減しきれない排出量をオフセットすることができる**ネガティブエミッション技術**、それが「木煉」です。



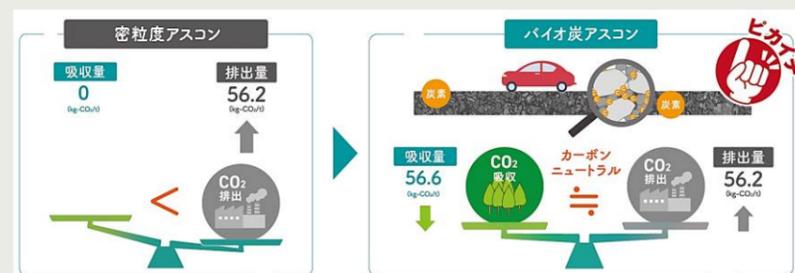
炭素低減

Method 2 CO₂排出量を100%削減
バイオ炭アスコン SUSMICS-A

バイオ炭アスコンは、製材所から未利用バイオマスとして排出されるオガ粉を炭化し、舗装材に活用する技術です。オガ粉を**ほぼ無酸素状態で800℃の高温で炭化**すると、揮発分が大きく減少し、**炭素濃度は50%から90%へと大幅に増加**します。



高濃度で炭素を吸収したバイオ炭を、アスファルト混合物の砂の代替として添加することで、「アスファルト混合物の製造時に排出される二酸化炭素」と「添加したバイオ炭が吸収した二酸化炭素」が**オフセット**され、**カーボンニュートラルなアスファルト混合物**となります。



炭素低減・プラスチック循環

Method 3 「高耐久舗装」と「廃棄PETの有効活用」が実現
スーパーPET アスコン

水平リサイクルできずに廃棄処分されるPETボトルに、特殊脂肪酸・特殊アルコール・特殊添加剤を加えて化学反応させることで、舗装の耐久性を向上させるアスファルト改質剤「**ニュートラック5500**」を花王(株)が開発しました。この添加剤をアスファルトに加えることで、**耐水性を飛躍的に向上**させた製品が「**スーパーPETアスコン**」です。**100m²あたり1,200本の廃PETボトルを再利用**でき、**循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現**に向けた新しい舗装技術です。

